

Prochainement

Fondation Maison franco-japonaise ● 公益財団法人 日仏会館 | イベント案内 プロシエヌマン

6.7.9 | juin/juillet/septembre
2023

ピクトグラム Pictogrammes



逐次通訳付き
Avec traduction consécutive



同時通訳付き
Avec traduction simultanée



日本語
En japonais



フランス語
En français



英語
In English

お知らせ

(公財)日仏会館は、2024年3月7日に創立100周年を迎えます。これを記念した講演会、シンポジウム等のイベントを、今後2年にわたり開催してまいります。記念イベントには右のロゴがつきます。ぜひご参加ください。



6.6 [火] / 8 [木] 18:00-
mardi / jeudi 20:30

共催講演会 ホール
Conférence Auditorium



大学の都市史と建築史

「大学空間」の学際的アプローチ

講師：ロイック・ヴァドロルジュ(ギスターヴ・エッフェル大学)
エレオノール・マランツ(パリ第1大学)
討論者：中野隆生(学習院大学元教授)
木方十根(鹿児島大学)
司会：大前敦巳(上越教育大学)

日仏ともに大学は、パリと東京の首都を中心に発展を遂げてきました。大学と都市は対立関係に置かれることが多かったのですが、最近では大学史・都市史・建築史などの学際的な視点から、両者に相互浸透性がみられる「大学空間」を解明する研究が進んでいます。本講演会では、フランスの「大学空間」の歴史に関する研究動向を紹介し、日仏学術交流を行

います。6月6日にロイック・ヴァドロルジュ氏が「フランスにおける大学の都市史」、8日にエレオノール・マランツ氏が「フランス大学建築の歴史的展開」の題目で講演を行い、日本の専門家によるコメントを受けて国際的議論を企てます。

主催/日仏教育学会
共催/(公財)日仏会館、日仏歴史学会
助成/科研費(基盤研究B)22H01023
定員/100名 参加費/無料
お申込み/不要(当日会場でご記帳ください)
お問合せ/大前敦巳(日仏教育学会長・上越教育大学)
メール: ohmae@juen.ac.jp



ロイック・ヴァドロルジュ



エレオノール・マランツ

Histoire urbaine et architecturale des universités
Une approche pluridisciplinaire de l'« espace universitaire »

6.7 [水] 19:00 -
mercredi 21:00



レクチャーコンサート ホール
Conférence-concert Auditorium

クラヴサンを愛した大クープランの音楽

講演・演奏：栗形亜樹子(チェンバロ/オルガン奏者、
東京藝術大学非常勤講師)
司会：野平一郎(東京音楽大学)

クープラン家は、フランスでバロック時代に最も影響力のあった音楽家の一族で、その中で中心的存在なのが大クープランと呼ばれるフランソワです。フランス様式の2段鍵盤によるクラヴサン(チェンバロ)での実際の演奏を交えながら、大クープランが執筆・出版した、楽器の初期奏法書として著名な「クラヴサン奏法」について、また彼が作曲した4巻からなる「クラヴサン曲集」の成立や作品の特徴につい

て語られます。この曲集で画期的な楽譜の改革が行われ、斬新な和声が多用されました。素晴らしいクラヴサン奏者であり、「クラヴサン奏法」の訳者でもある栗形亜樹子さんによる講演と演奏です。

主催/(公財)日仏会館
定員/100名
参加費/一般1,000円、日仏会館会員・学生 無料
お申込み/Peatix公益財団法人日仏会館ページ
URL: <https://fmfj.peatix.com/>



©林喜代種

La musique de Couperin le Grand, amateur de clavecin
Conférencière et musicienne : Akiko KUWAGATA (Tokyo University of the Arts)
Modérateur : Ichiro NODAIRA (Tokyo College of Music)

6.23 [金] 18:30-
vendredi 20:00



フランスとシリア・レバノン 幾重にもアンビバレントな関係

日仏文化講演シリーズ第371回 ホール
Conf. sur la culture franco-japonaise Auditorium

講師：黒木英充(東京外国語大学、北海道大学)
司会：平野千果子(武蔵大学)

を、わかりやすくお話しします。

主催／(公財)日仏会館
定員／100名
参加費／一般1,000円、日仏会館会員・学生 無料
お申込み／Peatix公益財団法人日仏会館ページ
URL：https://fmfj.peatix.com/

2020年8月4日、レバノンのベイルート港にて大爆発(非核爆発として世界最大規模)が発生すると、翌々日にマクロン大統領は事故現場に飛びました。フランスが第一次世界大戦後、20年余りシリア・レバノンの地域を事実上の植民地として統治したこと(国際連盟委任統治)を思い起こしますが、フランスとこの地域の付き合いは十字軍時代までさかのぼります。その歴史をたどることで、現在のシリア・レバノン両国が成立したゆえんと、フランスを交えた三者間の愛憎入り混じる一筋縄でいかない(敢えて言えば地中海的な)関係



マルセイユのギリシア・カトリック教会
Église Saint-Nicolas-de-Myreにおけるミサ
(撮影：黒木英充)

La France vis-à-vis de la Syrie et du Liban Des relations multiformes et ambivalentes

Conférencier : Hidemitsu KUROKI (univ. des langues étrangères de Tokyo, univ. de Hokkaido)
Modératrice : Chikako HIRANO (univ. Musashi)

6.29 [木] 18:30-
jeudi 20:30



日仏出版交流：1950年代から今日までの変化 文芸代理店経営者兼翻訳家の現場から

共催講演会 ホール
Conférence Auditorium

講師：コリーヌ・カンタン(フランス著作権事務所)
司会：瀬藤澄彦(ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)

を、そして私たちが向かうべき今後の道筋をお話しいただきます。

コリーヌ・カンタン氏は2022年、ルネサンス・フランセーズ文化普及賞(メダイユ・ドール)を受賞しました。カンタン氏は30年以上に亘り、フランス著作権事務所での著作権の譲渡や管理業務を通じ、日本におけるフランス語圏書籍およびフランスをはじめヨーロッパにおける日本語書籍の出版推進や、日仏の数多くの出版社や作家間における翻訳出版権の取得交渉に貢献し、日仏文化交流の発展に重要な役割を果たしてきました。本講演会では、激しく変容するグローバル世界のなかで日仏文化交流の深層部がいかに形成されてきたか

主催／ルネサンス・フランセーズ日本代表部(RFJ)
共催／(公財)日仏会館
協力／日本書籍出版協会、(公財)小西国際交流財団
定員／100名
参加費／一般2,000円、主催・共催団体会員・学生無料
お申込み・お問合わせ／ルネサンス・フランセーズ日本代表部
メール：rfjapon@gmail.com



Photo: N.Hatakeyama

Relations franco-japonaises dans le domaine de l'édition

Évolution des tendances des années 1950 à aujourd'hui; le témoignage d'une responsable d'agence littéraire et traductrice
Conférencière : Corinne QUENTIN (Bureau des Copyrights Français)
Modérateur : Sumihiko SETO (président de la RFJ)

7.1 [土] 14:00 -
samedi 18:00



ボワソナードと日本法、そして比較法の将来

日仏文化講座 ホール、オンライン
Colloque culturel Auditorium, en ligne

報告者：池田眞朗(武蔵野大学)
大村敦志(学習院大学)
ベアトリス・ジャリュージュ(リヨン大学)
松本英実(青山学院大学)
イザベル・ジロドゥ(東京大学)

司会：山元一((公財)日仏会館、慶應義塾大学)

響を与えてきました。彼は1873年から1895年までの長きにわたって日本に滞在し、2023年で来日150年を迎えました。そこで、この機会に彼の功績を振り返るとともに、比較法を行うことの意義について考えます。

明治維新後ほどなくして来日した数少ない数のお雇い外国人の一人が、ギュスターヴ＝エミール・ボワソナード(Gustave Émile Boissonade) (1825年6月7日 - 1910年6月27日)です。ボワソナードは、「日本近代法の父」と呼ばれているほど、現在の日本にまではかりしれないほど多くの影

主催／(公財)日仏会館
定員／100名
参加費／一般1,000円、日仏会館会員・学生 無料
お申込み／Peatix公益財団法人日仏会館ページ
URL：https://fmfj.peatix.com/



Boissonade, le droit japonais et l'avenir du droit comparé

Conférenciers : Masao IKEDA (univ. Musashino), Atsushi OMURA (univ. Gakushuin), Béatrice JALUZOT (univ. de Lyon), Emi MATSUMOTO (univ. Aoyamagakuin), Isabelle GIRAUDOU (univ. de Tokyo)
Modérateur : Hajime YAMAMOTO (univ. Keio)

100周年
CENTENAIRE
1924 - 2024

7.6 [木] 18:30 -
jeudi 20:30



パリの空の下ジャズは流れる

共催講演会 ホール
Conférence Auditorium

登壇者：宇田川悟(作家)
司会：渡辺真美((公財)日仏会館副理事長)

ジャズがフランスに伝来したのは第一次大戦末期。派遣された黒人兵士のブラスバンドがフランス全土を練り歩き、アメリカ文化に惹かれる知識階層が、この新しい音楽に衝撃を受け、魅了されました。フランスにおけるジャズの台頭、変遷、成熟を描いた『パリの空の下ジャズは流れる』(晶文社、2023年6月刊行予定)の著者が、文学、絵画、演劇、ファッションにまで影響を与えたジャズについて、ミュージシャンたちへのインタビュー秘話なども含め、存分に語ります。当日は、関連の楽曲の生演奏も入ります。

主催/TMF日仏メディア交流協会
共催/(公益)日仏会館
協力/日仏経済交流会(パリクラブ)
定員/80名
参加費/一般1,000円、主催・共催団体会員 無料
お申込み/TMF日仏メディア交流協会ウェブサイト
URL: <http://www.tmf.cc/>
お問合せ/TMF日仏メディア交流協会事務局
メール: info@tmf.cc
電話: 03-5776-2644



Sous le ciel de Paris coule le jazz

Conférencier : Satoru UDAGAWA (écrivain)

Modératrice : Mami WATANABE (vice-présidente de la FMFJ)

7.7 [金] 16:00 -
vendredi 18:30



第40回渋沢・クローデル賞表彰式

表彰式 ホール
Cérémonie Auditorium

渋沢・クローデル賞は、日仏両国において、それぞれ相手国の文化に関してなされた若手のすぐれた研究成果に対して贈られる学術賞です。受賞者は、6月に読売新聞紙面・日仏会館ウェブサイトにて発表されます。式典に続いて、受賞者による記念講演が行われます。

主催/日仏会館、読売新聞社
協賛/(公財)渋沢栄一記念財団、学校法人帝京大学
後援/在日フランス大使館
定員/100名
参加費/無料
お申込み/Peatix公益財団法人日仏会館ページ
URL: <https://fmfj.peatix.com/>



2022年度表彰式

Cérémonie de remise du Prix Shibusawa-Claudet 2023 (40^e édition)

7.10 [月] 18:30 -
lundi 20:00



労働者階級の消滅? — 20世紀日本における社会問題の変容



日仏文化講演シリーズ第372回 ホール
Conf. sur la culture franco-japonaise Auditorium

講師：ベルナルトマン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)
司会：中地義和((公財)日仏会館副理事長)

日本では、他の先進国と同様、「労働者階級」の出現が、19世紀末以降の工業化過程に伴う社会変化の大きな特徴の一つでした。「労働者階級」という概念は、同時に社会問題を把握するための道具であり、政治的プロジェクトであり、支配的な政治・社会秩序に対する脅威でした。「労働者階級」という概念は20世紀の社会科学の発展にとって中心的なものでしたが、社会政策や社会改革者の行動は、産業労働者の生活水準の向上を労働者階級の消滅と関連づける傾向がありました。戦間期、戦中、戦後、高度成長期は、いずれもそれなりに

この消滅に貢献し、その過程は、日本の全人口に当たる「一億総中流」のスローガンに象徴されています。

主催/(公財)日仏会館
協力/日仏会館・フランス国立日本研究所
定員/100名
参加費/一般1,000円、日仏会館会員・学生 無料
お申込み/Peatix公益財団法人日仏会館ページ
URL: <https://fmfj.peatix.com/>



La disparition de la classe ouvrière?

Les métamorphoses de la question sociale dans le Japon du vingtième siècle

Conférencier : Bernard THOMANN (directeur de l'IFRJ-MFJ)

Modérateur : Yoshikazu NAKAJI (vice-président de la FMFJ)

7.12 [水] 17:00- / 13 [木] 13:00-
mercredi 20:00 / jeudi 19:30

日仏シンポジウム ホール
Colloque franco-japonais Auditorium



責任の概念 — 個人から制度へ フランスと日本における考察、行動、論争



講師: ジル・カンパニョーロ (フランス国立科学研究センター、パリ第一大学)、井上達夫 (東京大学)、山元 一 (慶應義塾大学)、ライナ・ドロツツ (東京大学)、マリ・エリツプ (パリ第二大学)、ジェローム・ベリス (パリ政治学院)、一原雅子 (京都気候変動適応センター)、デミトリ・ヴァンオーヴェルバーク (東京大学)、アンヌ・ゴノン (同志社大学)、ジャンルイ・マクイヤー (弁護士)、アントワーヌ・リヨン=カーン (ナンテール大学)、水町勇一郎 (東京大学)、浅倉むつ子 (早稲田大学)、坪由美子 (弁護士)、リオラ・イスラエル (フランス国立社会科学高等研究院)

司会: アドリエンス・サラ (日仏会館・フランス国立日本研究所)、アンヌ・ゴノン、一原雅子、ジェローム・ベリス

日仏会館・フランス国立日本研究所は、2023年7月12日、13日に、「グローバル化の時代における社会的・環境的課題と『責任』」というテーマで日仏シンポジウムを開催いたします。シンポジウムでは、15名の参加者を招き、フランスと日

本における司法化のプロセス、なかでも、持続可能な開発目標(人権、気候、環境、生物多様性、健康、労働など)に関連する訴訟を素材として、「責任」というキー概念の位置づけ・変容について議論していただき、特に司法機関の役割に光を当てていくことを目指します。

主催 / 日仏会館・フランス国立日本研究所 協力 / (公財)日仏会館、東京大学 後援 / フランス国立社会科学高等研究院、野村財団、フランス財団、フランス国立科学研究センター
定員 / 130名 参加費 / 無料
お申込み / 日仏会館・フランス国立日本研究所ウェブサイト
URL : https://www.mfj.gr.jp/index_ja.php
お問合わせ / 日仏会館・フランス国立日本研究所
メール : contact@mfj.gr.jp



La responsabilité au Japon et en France : de l'individu aux institutions Réflexion, actions, contestations

7.15 [土] 14:00 -
samedi 18:00



日仏文化講演シリーズ第373回 501室
Conf. sur la culture franco-japonaise Salle 501

若手研究者セミナー

講師: 貝原伴寛 (日本学術振興会特別研究員PD)
浜永和希 (東京大学)
和田萌 (東北大学)

司会: 伊達聖伸 (東京大学)

人文社会系のフランス研究にかかわる若手研究者3名の講演を中心とするセミナーです。分野横断型の相互啓発セミナーとして、夏恒例の行事となりました。講師役を務める3人には、これまで進めてきた専門的な研究に基づきながら、その成果や現在の関心のありかを、専門分野を異にする研究者・大学院生・学部生・一般聴衆などにも、よく理解できるように語っていただきます。同世代の若手研究者どうしの親睦を

図る機会でもあります。今回は、歴史学、文学、国際関係論から1名ずつ登壇します。どうぞふるってご参加ください。

主催 / (公財)日仏会館
定員 / 30名
参加費 / 無料
お申込み / Peatix公益財団法人日仏会館ページ
URL : <https://fmfj.peatix.com/>



Séminaire de jeunes chercheurs

Conférenciers : Tomohiro KAIBARA (Japan Society for the Promotion of Science), Kazuki HAMANAGA (univ. de Tokyo), Moe WADA (univ. du Tôhoku)
Modérateur : Kiyonobu DATE (univ. de Tokyo)

7.21 [金] 18:30 -
vendredi 20:30



共催講演会 ホール
Conférence Auditorium

ミッテランからマクロンまで — パリ特派員生活30年

講師: 山口昌子 (ジャーナリスト、元産経新聞パリ支局長)
挨拶: 瀬藤澄彦 (ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)
司会: 岡 真理子 (帝京大学)

1990年5月から2011年9月まで産経新聞のパリ支局長として活動し、その後もパリ在住のフリージャーナリストとして発信を続ける山口昌子さんを迎え、ミッテラン政権2期からマクロン政権2期までのそれぞれの時代を象徴する印象的な事件について、海外特派員の視点から読み解いていただきます。近著『パリ日記』(藤原書店)のなかから、いくつかの戦争、EU拡大、同時多発テロ、国連気候変動サミット、コロナ、年金改革などを取り上げ、それぞれの政権の対処の仕方が

ら、グルメやモード、文化芸術の国というイメージとは別の「フランス共和国」の素顔に迫り、「自由、平等、博愛」の本当の意味を考えます。

主催 / ルネサンス・フランセーズ日本代表部 (RFJ)
共催 / (公財)日仏会館、日仏経済交流会 (パリクラブ)、TMF日仏メディア交流協会
協力 / 藤原書店 定員 / 100名
参加費 / 一般1,000円、主催・共催団体会員・学生無料
お申込み・お問合わせ / ルネサンス・フランセーズ日本代表部
メール : rfjapon@gmail.com



De Mitterrand à Macron : 30 ans en tant que correspondante japonaise à Paris

Conférencière : Shoko YAMAGUCHI (journaliste japonaise établie à Paris)
Allocation : Sumihiko SETO (président de la RFJ)
Modératrice : Mariko OKA-FUKUROI (univ. Teikyô)

7.26 [水] 18:00 -
mercredi 20:00



100周年
CENTENAIRE
1924 - 2024

日仏春秋講座 ホール
Grand débat de printemps Auditorium

インド太平洋とは何か? — 日仏の視点

講師: クリストフ・ジャフルロ (パリ政治学院 / CNRS)
大庭三枝 (神奈川大学)
司会: 兼原信克 (同志社大学)

しているのでしょうか? 地政学的にはどのような意味を持ち、中国などの競合する大国に対してどのような戦略を意味するのでしょうか?

インド太平洋という概念は、20世紀前半にはすでに地政学者が使っていましたが、2000年代後半になると、国際関係当事者の言説の中心になりました。2007年、安倍晋三元首相は「自由で開かれたインド太平洋」を掲げ、2010年にはインド太平洋は米国の外交政策の一部となり、アジア太平洋地域に対する戦略の中核をなしています。太平洋に領土を持つフランスもこの概念を採用しています。しかし、広く普及したとはいえ、インド太平洋が現在使われている各国において、同じ現実を対象と

主催 / 日仏会館・フランス国立日本研究所、(公財)日仏会館
定員 / 100名 参加費 / 無料
お申込み / 日仏会館・フランス国立日本研究所ウェブサイト
URL : https://www.mfj.gr.jp/index_ja.php
お問合せ / 日仏会館・フランス国立日本研究所
メール : contact@mfj.gr.jp



クリストフ・ジャフルロ



大庭三枝

De quoi l'Indo-pacifique est-il le nom ?

Une perspective franco-japonaise

Conférenciers : Christophe JAFFRELOT (Sciences Po / CNRS), Mie OBA (univ. Kanagawa)

Moderateur : Nobukatsu KANEHARA (univ. Doshisha)

9.15 [金] 18:00 -
vendredi 20:00



共催講演会 ホール
Conférence Auditorium

フランツ・ファノン: そのアンガジュマン、知性、遺産

講師: セルア・リュスト=ブルピナ (パリ・シテ大学)
討論者: 鶴飼哲 (一橋大学名誉教授)
司会: 澤田直 (公財)日仏会館、立教大学)

ルーツをアルジェリアにもつブルピナ氏がファノンの業績を問い直します。

フランツ・ファノン(1925-1961)は、アルジェリアで精神科医として活動する一方で、独立戦争に積極的に身を投じた人物です。彼は、『黒い皮膚・白い仮面』(1952)、『地に呪われた者』(1961)、『アフリカ革命に向けて』(1964)などを通じて植民地の精神的、文化的側面にも鋭い分析を遺し、ポストコロニアル理論の先駆者として広く知られています。アルジェリア独立後60年余を経て、人口動態、環境的正義、地政学的要因からグローバルサウスが脚光を浴びるいま、父方の

主催 / 日仏会館・フランス国立日本研究所、セルア・リュスト=ブルピナ氏招聘グループ
共催 / (公財)日仏会館
定員 / 130名 参加費 / 無料
お申込み・お問合せ /
URL : <https://forms.gle/JsPDnNwiBAaJnjoU9A>



Fanon : un engagement, une intelligence, une postérité

Conférencière : Seloua LUSTE BOULBINA (univ. Paris Cité)

Discutant : Satoshi UKAI (univ. Hitotsubashi)

Moderateur : Nao SAWADA (univ. Rikkyo)

9.17 [日] 15:00 -
dimanche 18:00



共催セミナー 501室
Séminaire Salle 501

フランスにおけるポストコロニアル研究 ジェンダーと植民地

講師: セルア・リュスト=ブルピナ (パリ・シテ大学)
司会: 増田一夫 (東京大学)

圧形態(インターセクショナリティ)が作用しています。その状況を分析し、身体の脱植民地化の可能性を探ります。

L'Afrique et ses fantômes. Écrire l'après (2015)、*Les miroirs vagabonds ou la décolonisation des savoirs* (2018)などで多角的に植民地主義を考察するセルア・リュスト=ブルピナ氏が、フランスにおけるポストコロニアル研究を、とりわけジェンダーと植民地の関係に焦点を当てながら考察します。植民地は、「人種」的ヒエラルキーのみならず、独特のジェンダー観によって形成され、支配、抑圧、搾取を正当化してきました。他方で、ジェンダー平等を語る社会にも、「人種」やジェンダーによって人々の身体を規定し、複雑な抑

主催 / セルア・リュスト=ブルピナ氏招聘グループ
共催 / (公財)日仏会館
協力 / 日仏会館・フランス国立日本研究所、科学研究費補助金基盤研究(B)20H04419「結婚の歴史再考——フランスの事例から見る(ポスト)結婚、生殖、親子、家族」
定員 / 30名 参加費 / 無料 お申込み / 不要
お問合せ / セルア・リュスト=ブルピナ氏招聘グループ
メール : seminaire.luste.boulbina@gmail.com



Les études postcoloniales en France

Genre et colonie

Conférencière : Seloua LUSTE BOULBINA (univ. Paris Cité)

Moderateur : Kazuo MASUDA (univ. de Tokyo)

9.19 [火] 18:00 -
mardi 20:00



サロメ 詩と散文のはざまに

「サロメ」出版130周年記念講演会

共催講演会 ホール
Conférence Auditorium

講師：ベルトラン・マルシャル(ソルボンヌ大学名誉教授)
挨拶：中地義和((公財)日仏会館副理事長)
司会・討論者：大鐘敦子(関東学院大学)

物像の分析を通して従来のサロメ研究を刷新したメタ・文学としてのサロメ批評を著者に紹介していただき、「サロメ」神話のヨーロッパ文芸における意味を問い直します。

2023年は、オスカー・ワイルドの『サロメ』出版130周年にあたります。日本では世紀末の演劇やオペラにおいて人気の高い作品ですが、フランス文学の影響は意外に知られていません。アカデミー・フランセーズが優れたマラルメ研究に贈るアンリ・モンドール賞受賞作『サロメー詩と散文のはざまに』(ジョゼ・コルティ社、2005年)の邦訳刊行記念に、著者ベルトラン・マルシャル教授を初めて日本にお迎えし、ボードレール、マラルメ、フローベール、ユイスマンスの作品における人

主催／ベルトラン・マルシャル教授招聘グループ
共催／(公財)日仏会館、科研費基盤研究(C)研究代表者:大鐘敦子「フローベール生成研究—初期・中期作品におけるファム・ファタルとファタリテ」(JSPS 20K00510)
定員／130名 参加費／無料
お申込み／お申込みフォーム:
URL : <https://forms.gle/Xf6G5oBvLYa6KcK49>
お問合せ／大鐘敦子 メール: atogane@kanto-gakuin.ac.jp



Salomé : entre vers et prose
À l'occasion des 130 ans de la publication de Salomé
Conférencier : Bertrand MARCHAL (prof. émérite de Sorbonne Université)
Allocation : Yoshikazu NAKAJI (vice-président de la FMFJ)
Modératrice, discutante : Atsuko OGANE (unv. Kanto Gakuin)

賛助会員

- | | | | |
|------------------------|-------------------|--------------------------|--------------------|
| ABC文化系フランス政府給費留学生の会 | 科学部門フランス政府給費留学生の会 | TMF日仏メディア交流協会 | スターツファミリーサービス株式会社 |
| 株式会社朝日新聞社 | 鹿島建設株式会社 | 日本フランス語フランス文学会 | タイムズ24株式会社 |
| 株式会社アトックス | 株式会社隈研吾建築都市設計事務所 | 日本印刷株式会社 | 大成建設株式会社 |
| 中央大学図書館情報資料課 | キッコーマン株式会社 | 株式会社日本経済新聞社 | 株式会社高島屋 |
| クラブ・プロスベール・モンタニエ日本支部 | 公益財団法人青春白樺美術館 | 日本ロレアル株式会社 | 立山酒造株式会社 |
| 大日本印刷株式会社 | 小林香料株式会社 | 野村ホールディングス株式会社 | 帝京大学メディアライブラリーセンター |
| ドレカミジャポン株式会社 | 株式会社コーセー | 株式会社NKB | TMI総合法律事務所 |
| 株式会社アントラクト | 公益財団法人小西国際交流財団 | 桜美林大学 | 株式会社東急文化村 |
| フランス語婦人会 | 極東鋼弦コンクリート振興株式会社 | 株式会社奥井海生堂 | 東レ株式会社 |
| 公益財団法人フランス語教育振興協会 | ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社 | プリオホールディングス株式会社 | トヨタ自動車株式会社 |
| 株式会社フランス図書 | 株式会社エム・シー・エル | ルネサンス・フランセーズ日本代表部 | 豊田通商株式会社 |
| 株式会社アジテレビジョン | 明治記念館 | 株式会社サカタのタネ | 株式会社読売新聞東京本社 |
| ギャガ株式会社 | 三菱マテリアル株式会社 | サノフィ株式会社 | 一般社団法人在日フランス商工会議所 |
| 株式会社ギャルリーためな | 三菱商事株式会社 | サッポロホールディングス株式会社 | (ABC順2023年4月1日現在) |
| グローブシップ株式会社 | 株式会社三菱UFJ銀行 | 笹川日仏財団 | |
| アッシュウセ経営大学院 | 三井物産株式会社 | セイコーグループ株式会社 | |
| エルメス ジャパン株式会社 | 株式会社三井住友銀行 | 西南学院大学 | |
| 稲畑産業株式会社 | みずほ証券株式会社 | 公益財団法人渋沢栄一記念財団 | |
| 伊藤忠商事株式会社 | 有限会社森英恵事務所 | 株式会社資生堂 | |
| ジャンパルテルミー・コンサルタンシー株式会社 | 日仏経済交流会 | 株式会社サイマル・テクニカルコミュニケーションズ | |



公益財団法人
日仏会館
Fondation Maison franco-japonaise

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25
JR恵比寿駅徒歩10分(ガーデンプレイス方面)
Tel. 03-5424-1141
Fax. 03-5424-1200
Email bjmfj@mfjtokyo.or.jp



3-9-25 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo 150-0013
10 mn à pied de la station JR Ebisu (direction Yebisu Garden Place)



要参加申し込み

Peatix (<https://mfj.peatix.com>) から
*共催イベントは各主催宛にお申込み下さい。



<https://www.mfjtokyo.or.jp>
詳細・最新情報はウェブサイトをご覧ください。